

第4章	2 施策の展開	1 基本目標	I 安全で健康に暮らせるまち
基本方針	I-1	空気・音	さわやかな空気と静けさを確保する

変更前			
環境指標	No.	指標項目	目指す方向
その他			

変更後			
環境指標	No.	指標項目	目標
			空間放射線量測定地点数
その他	環境施策 施策③ 放射線量の把握 ○放射線測定の定期的な実施 ・市民の皆様が安心して生活できるよう環境中の空間放射線量の定期的な測定・公表を行います。 ・市民の皆様が放射線について正しい知識を得たり、関心を高めたりすることができるよう、学習会などを通じ啓発を行っていきます。		

変更の理由・根拠等
<p>・放射線について、項目を設けて記載しました。</p> <p>・掲載する場所ですが、「さわやかな空気と静けさを確保する」という見出しにはそぐわないかもしれませんが、【I-1空気・音】の分野を考えています。これは、環境中の空間放射線量を主な指標項目として考えた際には空気の分野がふさわしいと考えられることと、他に候補として考えられる【I-3化学物質】で扱っている化学物質の定義に、法律上放射性物質は化学物質として取り扱わないとされているためです。</p> <p>・ほかに考えられる指標としては、『子どもが利用する施設での空間放射線量測定回数』や『学校給食調理場で使用する給食食材の放射性物質の測定件数』、『下水道汚泥などの放射性物質濃度測定件数』、『放射線に関する市民学習会開催数』等がありますが、環境基本計画に載せるべき環境指標としての放射線関連項目については、空間放射線量の定期測定のみで十分だと考えますので、その他のものについては包括的に環境施策で記載することとします。</p>